

請願第 6 号

盛岡市議会議長 様



令和 5 年 10 月 6 日

紹介議員
住所
氏名
連絡先

豊村 徹也

岩手県盛岡市

政策立案有志市民会 安部茂樹 (印)

連絡先

mRNA ワクチン接種時のインフォームド・コンセントのガイドライン策定に関する請願

請願 趣旨

- 1 新型コロナ感染対策として、現在推奨されている mRNA ワクチン（以下、ワクチンと表記）について、本来接種者に集計すべき人数を未接種者に集計していた統計方法を適正化し再集計した結果、ワクチン接種に感染予防効果がないばかりか、接種者の方が感染しやすい事実が 2022 年 5 月 11 日の厚労省専門家会議「新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード」で明らかになった。
- 2 岩手県の統計資料によれば、岩手県内の陽性者の 8 割がワクチン接種者である。
- 3 高齢者や基礎疾患のある方、妊婦などのハイリスク群に関して、特例承認時の国内治験において、二重盲検はおろか治験そのものが行われていないことに加え、交接種の有効性および安全性について、製薬会社が検証していないにも関わらず、行政は推奨している。
- 4 当初期待された感染予防効果がないことが明らかになった現在、重症化予防を目的として、国内治験時と異なる変異株に対して、ワクチン接種を推奨している。
- 5 しかし、大阪府（人口 878 万人）の統計によると大部分の世代で有意差は 0~0.2%（重症者の実数は、世代別で 0 人~最大 14 人）であり、重症化の有無がワクチン接種に起因しているかの根拠は実証されていない（第 76 回大阪府新型コロナウイルス対策本部会議資料）。
- 6 上記のような実態に加え、心筋炎や脳血栓、ADE、抗原原罪に代表される重大な副反応の発現率について、従来型ワクチンと比較にならない高さであることを知らない市民が接種を希望する際、接種する医師によって提供される情報に差が生じた結果、適正かつ十分なインフォームド・コンセントが実施されていれば接種を希望しない市民に対し、情報提供が不十分であれば、本意に反して医療従事者に接種同意を与えてしまう可能性が否定できない。
- 7 加えて、7 回目接種を推奨しているワクチンは、添付文書によると従来ワクチンと同様に日本人への治験は行われていないだけでなく、動物実験のみで、人間に治験されていない。
- 8 盛岡市として、インフォームド・コンセントのガイドラインが策定されていない以上、接種する医療従事者は常に希望者から、インフォームド・コンセント違反の訴訟リスクないし保健所による違反摘発のリスクを回避できない。

上記を踏まえて、以下の通り、市民と医療従事者の保護の観点から、ワクチン接種時のインフォームド・コンセントのガイドライン策定を請願します。

請願 事項

- 1 市民の健康を最優先したインフォームド・コンセントのガイドラインを策定すること
- 2 策定にあたって、市民に周知徹底し、違反した場合の行政処分を明文化すること。
- 3 医療の専門家ではない市民の保護を最優先し、医療従事者の過失、重過失、説明責任の不履行によって市民の健康が損なわれることがないように周知徹底監督すること。
- 4 策定にあたって、特に未成年、高齢者、基礎疾患のある方、妊婦およびその家族に対する、インフォームド・コンセントの基準を厳格化し、医療情報弱者の保護をはかること。